

〔 横浜市大倉山記念館 〕
令和 4 年度業務計画及び収支予算
〔 日比谷花壇・西田装美共同事業体 〕

- ※ 文中の事業欄において、
●：主催事業 ○：共催事業
を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
□：定量的指標 ■：定性的指標
を示します。

1 施設の概要

施設名	横浜市大倉山記念館
所在地	横浜市港北区大倉山二丁目 10 番 1 号 大倉山公園内
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階、塔屋 1 階
敷地・延床面積	延床面積 1,877.23 m ² (大倉山記念館部分) 管理区域面積：4,073 m ²
開館日	昭和 59 年 10 月(昭和 7 年竣工)

2 指定管理者

団体名	日比谷花壇・西田装美共同事業体
所在地	東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 1 号
代表者	代表者氏名 株式会社日比谷花壇 代表取締役 宮島 浩彰
設立年月日	昭和 25 年 12 月 6 日
指定期間	令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日まで
現指定管理者の 管理運営開始日	令和 4 年 4 月 1 日から

3 指定管理に係る業務方針 指定管理業務実施にあたっての方針

(1) 基本的な方針

【運営理念】

大倉山記念館の「文化芸術活動の拠点機能」を最大限発揮して、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞や参画機会を提供することで、市民の主体的な活動の促進・多様な文化芸術活動によるコミュニティの形成につなげ、「自然と文化とともに暮らす街 大倉山」を実現させるとともに、市の「文化芸術創造都市のまちづくり」の推進に貢献します。

【基本方針】

方針 1 全スタッフがコンシェルジュとなり、利用者目線に立った、公平で統一された高品質な接客サービスを実施します。

- ・代表団体は設立 70 周年、全国約 200 店舗を展開するフラワーショップとしての実績と経験から育んだ接客のプロとして、利用者の気持ちに寄り添い、ホスピタリティーあふれるサービスを実践いたします。
- ・「利用者＝お客様」と考え、独自の接客マニュアルや研修制度を活用し統一されたサービスを提供いたします。
- ・施設はもちろん、地域の情報も把握し、利用者や市民が求める情報をお伝えできる「まちのコンシェルジュ」となります。
- ・正面入り口に季節の生花を使った装花、ロビーやトイレなどに季節の花を飾り、癒しとくつろぎの空間を演出します。

方針 2 私たち自ら地域に出ていき、文化芸術を通じて、地域課題の解決や地域の安全・安心に協働して取り組みます。

- ・地域の一員として、関係団体や施設などと連携、情報共有を行い、地域課題や要望の把握に努めます。
- ・文化芸術活動を通じて協働し、私たちの意資源とノウハウも活かして地域の課題解決や要望の実現につながる管理運営を行います。
- ・新規採用するスタッフは、可能な限り横浜市、港北区在住の方とし、また高齢者や、女性も活躍できる環境を整えます。
- ・地域住民や近隣施設と連携した地域一体防災訓練や防犯訓練を実施し、地域の安全安心拠点としての役割を担います。

方針 3 既存の事業は継続・発展を基本に、利用者とともにより良い活動を目指していきます。

- ・現在行っている協働は継続・発展を基本とし、関係者のご意見も伺いながら、より良い発展への形を模索しています。
- ・当施設の利用者の高齢化が進んでおり、若い世代が新たに活動に加わることが求められるなど、地域の実情をとらえ、課題の解決につながるような協働を推進します。
- ・私たちが持つ地域協働やボランティア育成のノウハウを活かし、施設や地域の財産を活かした、魅力あるあらたな協働を積極的に実施し、一緒に推進する仲間を作ります。

方針 4 市民の自主・自発的な活動を尊重し、市民と私たちが両輪となり、活動を支援します。

- ・文化芸術振興基本法基本方針においても規定されている「活動主体の自発性と自主性が尊重されるべき」という項目に基づき、市民の自主・自発的な活動を尊重し、協働して市民主体による文化の創造、町づくりの推進に寄与する管理運営を実践します。
- ・施設を利用いただいている団体、サークルなどの活動を館内外に周知し、新規会員募集や活動の意活動発展を支援します。
- ・当館が主導となり新しい文芸活動団体を立ち上げ、活動を支援します。最終的には、該当団体が自主自発的に活動し、自立した団体として広く活動できるよう育成します。

方針 5 世代や社会属性を超えたあらゆる方々に文化芸術に触れる機会を提供します。

- ・あらゆる方に公平に接することはもちろん、多様な情報発信手段の活用、出張講座な

どのアウトリーチ活動、無料講座の企画などによって社会属性を超えてあらゆる方々に文化芸術活動に関わる機会を提供します。

- ・施設開放ひを設け、当館を知っていただき、気軽に参加できる文化芸術活動を行います。新しい趣味や知的向上につながり、また、地域を知る機会を提供します。

方針6 平等公平な対応・人権の尊重・積極的な情報の公開・発信を原則とします。

- ・横浜市の指定管理者として行政の代行者であるという自覚を持ち、各種法令を遵守するとともに公平公正に業務を行います。
- ・責任者の配置と施設スタッフへの教育、利用者目線での接客・接遇、差別的な取り扱いの排除と誰にでもわかりやすい案内やコンプライアンスの遵守などを徹底します。

方針7 SDGsの観点を持ち、自然や環境に配慮した、維持管理・運営を徹底します。

- ・横浜市が定める環境管理計画に従い行動し、ISO14001環境マネジメントシステムに連動します。さらに横浜市の取り組みに迅速に対応し、区内の施設として必要な役割を果たします。
- ・植栽の維持管理作業で発生する選定枝や落ち葉などは、園内で堆肥化をすすめ、花壇や樹木の育成に活用することを検討します。
- ・維持管理・運営の目標を策定し環境活動に取り組みます、設定した目標は年度毎に結果を検証し、積極的に改善を図ることで環境活動の取り組みレベルを向上させます。
- ・自然や環境への配慮・共生共存を意識した維持管理運営を意識し、実践することで、横浜市SDGs認証制度”Y-SDGs“の認証を目指します。

方針8 私たちが培ってきたノウハウと実績、ネットワークを最大限生かし、地域住民や施設と一体となり、強い愛情と熱意を持って大倉山記念館と地域の発展に貢献します。

- ・私たちの運営する指定管理施設などにおける地域協働の実績や、70年にわたる接客業の経験に基づくお客様目線のおもてなしを当施設の運営に投下します
- ・全国約20店舗を展開する拠点や月間150万PV（ページビュー）の代表団体のWEBサイトなどの広域ネットワーク、国内外の様々な展覧会への出展実績や新しい文化を日本に根付かせてきた経験を最大限活用します。
- ・重要文化財をはじめとした歴史的建造物の管理運営実績と数々の表彰に裏打ちされた高品質な維持管理技術といった、私たちの持つ、豊富なノウハウを最大限に活かし、地域住民・市民や施設関係団体とともに、地域への強い愛情と熱意をもって、大倉山記念館と地域の発展に貢献する運営を行います。

(2) 令和4年度の業務の方針

ア 全体について

本年もコロナウイルスによる影響を鑑み、「横浜ガイドライン」を遵守しながら、可能な限り利用者が利用しやすい施設運営を致します。また、市の文化政策に賛同するとともに、私たちの「ノウハウや実績」と利用者や市民の「施設や地域への想い」を真摯に受け止め、新しい取り組みやサービスを展開し、今まで以上に利用者や市民が地域・文化に親しみ、コミュニティを活性化させるとともに、地域の

安全・安心、そして文化拠点となる施設の土台づくりを進めます。

イ 使命1 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる

市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し、関係者ともに策定する利用ルールの徹底で、どなたにもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実行します。

ウ 使命2 文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する

地域に密着した文化芸術活動の拠点として、「歴史・文化・芸術」をテーマに、体験や交流による地域文化コミュニティの活性化・発展に寄与し、愛され続ける「施設・地域・まちづくり」を実現し、多様な市民の芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供します。

エ 使命3 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

これまでの協働や活動を尊重しながら、協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や環境に合わせた新しい協働を展開します。そして市民参加型での施設の維持井・運営にとともに取り組みます。また、地域の団体、しない文化施設とネットワークを築き、文化的コモンズの形成を牽引します。

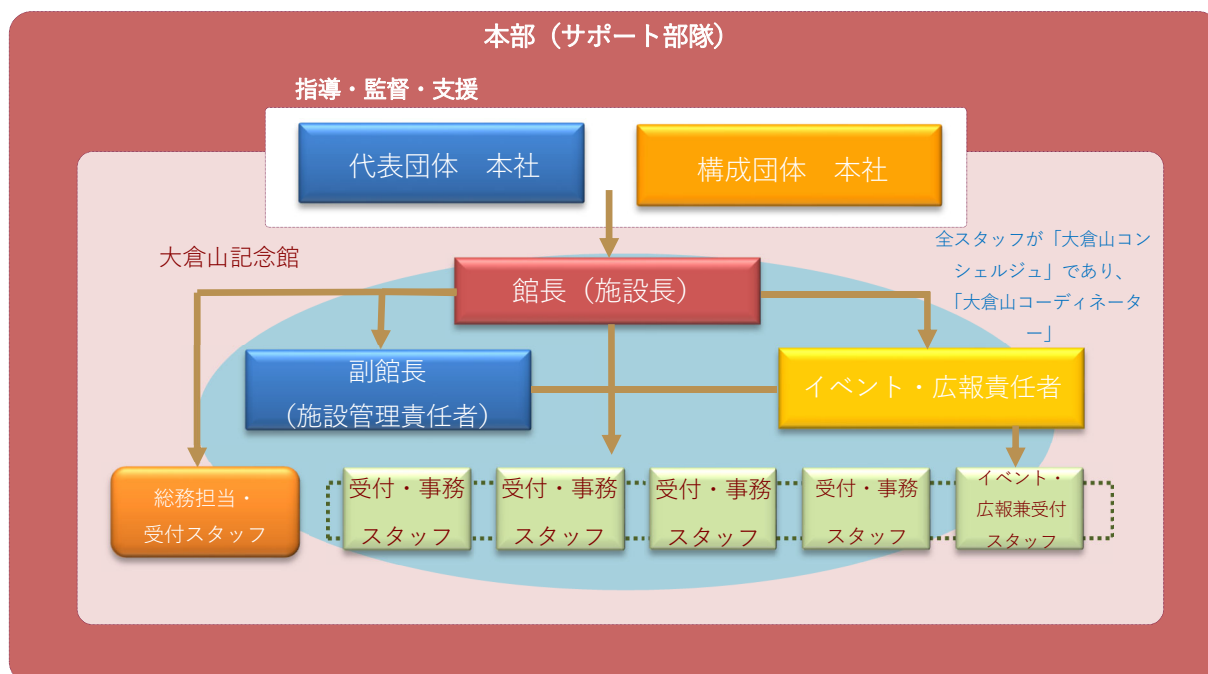
オ 使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

当施設の貴重性・重要性を理解し、常駐する維持管理担当者による、きめ細やか予防保全策を講じることで、利用者の安全・安心を確保します。また、経験に基づく緻密な収支計画および本部による執行確認により、効果的・効率的で持続可能性の高い維持管理・施設運営を実現します。

カ 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する

コロナ禍も踏まえ安全対策にも積極的に取り組み利用者が安心して来館できる施設を維持します。イベント運営においても安心、安全への取組を日々徹底し、対策内容を広く告知し参加者数の回復に努めます。

4 運営組織の構造、人員配置



職名	雇用形態	主な役割	勤務時間	休日設定
館長 1名 現施設管理者・館長	正社員	・施設全体の管理運営 ・事業計画・予算計画作成 ・市対応、住民対応・地域連携促進	8時間/日	週2日
副館長 1名 現施設管理責任者 防火管理者（甲種）取得者 第二種電気工事士 危険物取扱者（乙種4種）	正社員	・館長代理 ・施設維持管理責任者 ・今期の当施設管理経験を生かした修繕計画立案	8時間/日	週2日
イベント・広報責任者 1名 イベント企画 広報業務経験者	正社員	・自主、共催等の事業立案及び実施 ・地域連携サポート	8時間/日	週2日
イベント広報担当者兼 受付スタッフ 1名	契約社員	・自主・共催事業運営補佐 ・利用団体のサポート・受付 ・広報作成・活用補佐	8時間/日	週2日
受付スタッフ 4名 （内2名はシェアードスタッフとして総務・庶務の担当）	パート タイマー	・利用団体受付 ・施設案内 ・自主、共催事業サポート ・行政報告・会計・決済・庶務補佐	5~8時間/日	週3~5日（事務 収支担当は週5 日）
第一種電気工事士	正社員	電気設備全般の月次点検及び不具合時の一次対応	随時（月1 回以上）	
電気主任技術者 （関東電気保守協会）	外部委託	・自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保守監督業務及び保守、法令点検	隔月	

館長1名を中心に副館長とイベント広報専任スタッフ各1名を配置し、施設保全・利用促進を両立する管理運営を実現します。

第3期の施設管理責任者とイベント企画運営・広報業務責任者を担当スタッフとして配置し、経験に基づく先を見越した修繕・施設管理と市民・利用者の立場に立ったイベントを遂行します。

管理経験を活かし、全スタッフが施設や地域の顔としてお客さまをおもてなしする「大倉山コンシェルジュ」であり、文化芸術の知識を有する「大倉山コーディネーター」であるという高い意識を持ち、お客さまを出迎え、業務を遂行します。

施設の特徴と接客待遇をしっかりと習得したスタッフによる研修マニュアルの策定と計画的な研修を遂行し人材開発・スキルの平準化を進め、誰もが、高い接客レベルで対応できるようにします。

5 令和4年度の業務の取組

(1) 文化事業

施設の特性を活かした事業や地域と一体となり事業を展開し、文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供及び地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進を行ってゆく。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(2) 施設運営

これまでの協働や活動を尊重しながら、協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や、環境に合わせた新しい協働を展開し、文化芸術を媒介として地域の力を結びつける、地域コミュニティのベースとなる文化的commonsの形成につなげる。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(3) 施設管理

当施設の貴重性・重要性を理解し常駐する維持管理担当者による、きめ細やかな予防保全策を講じることで、利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(4) 収支

効率的・効果的な経費削減策を講じ、高品質のサービス提供と適正なコスト運用の両立を図るとともに、魅力的な事業実施、助成金や補助金の取得などにより、指定管理料のみに依存しない収入構造を目指します。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(5) 各種計画書・報告書の作成及び業務評価

PDCA を確実に運用しながら、日報・月報 業務計画書及び業務報告書の作成・管理をし、毎月の業務評価（モニタリング）の場で報告・共有をする。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

(6) その他

・施設賠償責任保険への加入・関係法令などの遵守・市及び関係機関との連絡調整・近隣対策に力を入れ、安心安全且つ便利に使用できる施設を目指す。

具体的な取組内容は、指定管理業務計画表に記載します。

6 使命の指標の達成状況と**重点的取組事項**

(1) 使命1 文化芸術をはじめとする市民の活動の場となる

ア 定量指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成 指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成 指標	R 8 実績
1	年間施設利用 人数	—	120,00 0人	—	—	—	120,00 0人	—
	オープンデー 開催時人数/日	—	1,300 人	—	—	1	1,600 人	—
2	ホール	—	91%	—	—	—	94%	—
	ギャラリー	—	97%	—	—	—	100%	—
	第1集会室	—	82%	—	—	—	85%	—
	第2集会室	—	70%	—	—	—	73%	—
	第3集会室	—	67%	—	—	—	70%	—
	第4集会室	—	76%	—	—	—	79%	—
	第5集会室	—	81%	—	—	—	84%	—
	第6集会室	—	74%	—	—	—	77%	—
	第7集会室	—	80%	—	—	—	83%	—
	第8集会室	—	63%	—	—	—	66%	—
	第9集会室	—	73%	—	—	—	76%	—
第10集会室	—	88%	—	—	—	91%	—	

		年間平均	—	91%	—	—	—	82%	—
3 ★	年間新規導入備品数		—	2件	—	—	—	2件	—
4 ★	年間新規備品目標稼働数		—	30件	—	—	—	80件	—
5 ★	アーティストバンクへの年間総人数登録数		—	10名	—	—	—	40名	—
6 ★	アーティストバンクへからの年間アーティスト稼働人数		—	5名	—	—	—	20名	—
7 ★	大倉山アートマップの更新頻度		—	1回	—	—	—	2回	—
8 ★	年間見学会開催数（塔屋を含めたツアー）		—	12回	—	—	—	12回	—
9 ★	見学会開催後アンケートによる満足度調査（満足度）		—	90%	—	—	—	90%	—
10 ★	大倉山ご縁マルシェ	開催数（土日開催）	—	月1回	—	—	—	月2回	—
		来客数（/日）	—	30名	—	—	—	30名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
11 ★	大倉山ご縁カフェ	開催数（土日開催）	—	月1回	—	—	—	月2回	—
		来客数	—	30名/日	—	—	—	30名/日	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
12 ★	陽だまりカフェ	開催数	—	月1回	—	—	—	月1回	—
		来客数	—	10名/日	—	—	—	10名/日	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
11 ★	全施設の印象について（満足度）		—	90%	—	—	—	95%	—
12 ★	共有スペースの印象について（満足度）		—	80%	—	—	—	80%	—
13 ★	備品貸出、使い勝手について（満足度）		—	80%	—	—	—	80%	—
14 ★	スタッフの対応について（満足度）		—	95%	—	—	—	95%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1	利用者の状況についての現状把握	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	アンケートでの各項目の満足度を達成している（定量指標 11 から 14 による）
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	アンケートでの各項目の満足度を達成している（定量指標 11 から 14 による）
		R 8 実績	—
2 ★	年度末アンケート調査にて備品に対する満足度を調査	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	利用者の要望に対応できている。（満足度 80%を目標とする。）
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	利用者の要望に対応できている。（満足度 80%を目標とする。）
		R 8 実績	—
3 ★	館内掲示板にてアーティストの募集を実施する	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	開館中は随時掲示する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	開館中は随時掲示する。
		R 8 実績	—
4 ★	SNSを活用しアーティストの募集を実施する	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	3か月に1回を目標として募集する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	3か月に1回を目標として募集する。
		R 8 実績	—
5 ★	積極的に施設の見学に対応する	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	開館中は随時対応する。
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	開館中は随時対応する。
		R 8 実績	—

ウ 使命1を達成するために重点的に取り組む事項

市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し関係者ととも作成する利用ルールの徹底でどなたでもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実行します。

(2) 使命2 文化財を活用し魅力を発信するとともに、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目		R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1	★ 大倉山なるほど 物語	来館数	—	180名	—	—	—	180名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
2	★ こども記念館探 検	来館数	—	50名	—	—	—	100名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
3	★ 職場体験	来館数	—	10名	—	—	—	10名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
4	★ NPO 法人街カフェ大倉山ミエル 8月ギャラリーにて親子の為の【アートジャム】イベント開催		—	1回	—	—	—	1回	—
5	★ 港北区区民活動支援センター 2月オープンデーでの港北区 内【まちの先生】紹介		—	1回	—	—	—	1回	—
6	★ 横浜ベビーHIP HOP スタジオ 母と子の為のダンスワークシ ョップ、地域活性イベント協 力		—	1回	—	—	—	1回	—
7	★ 特定非営利活動法人ST スポッ ト横浜 プラットフォーム事業におけ る地域小学校へのアーティスト 派遣		—	3件	—	—	—	3件	—
8	★ 建築物や地域の歴史・魅力を 発信する事業数		—	20件	—	—	—	25件	—
9	★ 館主催事業数		—	100件	—	—	—	120件	—
10	★	来館数	—	180名 /回	—	—	—	180名 /回	—

	フラワーアレンジメント教室 (年6回)	満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
11★	花音コンサート (年4回)	来館数	—	160名/回	—	—	—	320名/回	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
12★	花育教室 (年4回)	来館数	—	40名/回	—	—	—	40名/回	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
13★	オープンギャラリー	来館数	—	300名	—	—	—	300名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
14★	オープンデイ	来館数	—	300名	—	—	—	400名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	95%	—
15★	港北区民交響楽団コンサート	来館数	—	60名	—	—	—	60名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
16★	今昔建築サロン	来館数	—	40名	—	—	—	40名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
17★	大倉山新春寄席	来館数	—	40名	—	—	—	60名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	85%	—
18★	高校生ギャラリー&ミュージックフェスタ	来館数	—	500名	—	—	—	500名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
19★	オープンデイ ～おしえてまちの先生PR展～	来館数	—	1200名	—	—	—	1200名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
20★	大倉山なるほど物語	来館数	—	180名	—	—	—	180名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
21★	こども記念館探検	来館数	—	50名	—	—	—	100名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
22★	職業体験	来館数	—	10名	—	—	—	10名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
23★	広報よこはま 港北区版		—	12件/年	—	—	—	12件/年	—
24★	タウンニュース		—	10件/年	—	—	—	10件/年	—
25★	えがお		—	12件/年	—	—	—	12件/年	—
26★	Facebook		—	100件/年	—	—	—	100件/年	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1 ★	各事業終了毎にアンケートを集計	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	40 回/年
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	40 回/年
		R 8 実績	—
2 ★	アンケートによる満足度調査	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	80%以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	80%以上
		R 8 実績	—
3 ★	アンケート回収率	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	50%以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	50%以上
		R 8 実績	—
4 ★	アンケート結果による新規 SNS 媒体	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	5 社/年
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	10 社/年
		R 8 実績	—
5 ★	他事業への関心調査	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	自主イベントの再考
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	自主イベントの再考
		R 8 実績	—

ウ 使命2を達成するために重点的に取り組む事項

地域に密着した文化芸術活動の拠点として、「歴史・文化・芸術」をテーマに、体験や交流による地域文化とコミュニティの活性化・発展に寄与し、愛され続ける「施設・地域・町づくり」を実現し、多様な市民の文化芸術活動の鑑賞及び参加機会を提供する。

(3) 使命3 文化芸術を媒介として地域の力を結びつける

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R4 実績	R5 達成 指標	R5 実績	R6 実績	R7 実績	R8 達成 指標	R8 実績
1 ★	港北区役所地域振興課と連携し地域の安全マップを作成	—	1回/年 更新	—	—	—	2回/年 更新	—
2 ★	港北警察署と連携し、正面入口に防犯メールの内容を掲示し、地域の防犯対策に寄与します。	—	メールに 連絡が入 り次第掲 示版にて 更新	—	—	—	メールに 連絡が入 り次第掲 示版にて 更新	—
3 ★	港北消防署と連携し、情報提供コーナーを開設、文化財に対する保全意識の向上、地域の市民共催団体関係者と実施している救命訓練等の状況をお知らせし、安心して施設を利用できるよう努めます。	—	2回/年 更新	—	—	—	2回/年 更新	—
4 ★	(公益財団法人)大倉精神文化研究所 ・創立90周年イベント開催(大倉邦彦とタゴール) ・撮影実績パンフレットVol.2,3 ・図書館PR協力(本についての座談会や紹介) ・紙芝居レンタル ・3階回廊を活用した常設パネル展示	—	20件	—	—	—	20件	—
5 ★	障害者スポーツ文化センター横浜ラポール ・障がい者向けのフラワーアレンジメント出張事業	—	5件	—	—	—	5件	—

	・ギャラリーにてアート展示会 ・大倉山パラアートフェスティバルの開催								
6★	シンコースポーツ・サンワックス ・フラワーアレンジメント出張事業 ・レンタル装花、館内装花 ・共催事業開催時のイベント協力 ・パンフレット等配架協力	—	5件	—	—	—	5件	—	
7★	鶴見川流域ネットワーク ・移動水族館の誘致 ・パンフレット等配架協力	—	2件	—	—	—	2件	—	
8★	NPO 法人街カフェ大倉山ミエル ・夏休みの期間、子どものためのアートジャムフェスタを開催	—	1件	—	—	—	1件	—	
9★	港北区区民活動支援センター 港北区内のまちな先生派遣としてオープンデイに事業協力	—	1件	—	—	—	1件	—	
10★	大倉山講演会	来館数	—	各40名	—	—	—	各70名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
11★	大倉山ジョイフルコンサート	来館数	—	各40名	—	—	—	各70名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
12★	大倉山こどもフェスティバル	来館数	—	1000名	—	—	—	1500名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
13★	大倉山秋の芸術祭	来館数	—	4000名	—	—	—	5000名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	90%	—
14★	小さな丘のメリークリスマス	来館数	—	1000名	—	—	—	1500名	—
		満足度	—	90%	—	—	—	90%	—
15★	のんびるフェスタ	来館数	—	500名	—	—	—	500名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	80%	—
16★	港北美術展	—	継続実施	—	—	—	継続実施	—	
17★	大倉山ドキュメンタリー映画祭	来館数	—	300名	—	—	—	300名	—
		満足度	—	80%	—	—	—	80%	—

イ 定性指標（★は提案者が提案した指標）（実績は各年度終了後に記載）

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1 ★	各施設へ期待する事へのヒアリング（事前打ち合わせ）	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	40 回/年
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	50 回/年
		R 8 実績	—
2 ★	各施設へ協働により当初の問題が解決したかのヒヤリングアンケート調査：満足度)	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	80%以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	90%以上
		R 8 実績	—
3 ★	各施設へ問題点解決へ期待する事のヒアリング（反省会実施）	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	20 回/年
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	25 回/年
		R 8 実績	—
4 ★	イベント開催への感想（アンケート調査：満足度）	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	80%以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	90%以上
		R 8 実績	—
5 ★	イベント開催における賑わいの創出	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	定員の8割以上
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—

	(イベント参加人数)	R 7 実績	—
		R 8 達成指標	定員の 8 割以上
6★	アンケート調査によるターゲット層への反響(全体の参加人数に占める割合)	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	過半数
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	7 割以上
		R 8 実績	—

ウ 使命 3 を達成するために重点的に取り組む事項

協働と交流の輪を広げるコーディネーターとなり、市民とともに、時代や環境に合わせた新しい協働を展開し、市民参加型での施設の維持・運営に取り組みます

(4) 使命 4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う

ア 定量指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	R 4 実績	R 5 達成指標	R 5 実績	R 6 実績	R 7 実績	R 8 達成指標	R 8 実績
1★	全蛍光灯の LED 化 約 2 2 0 本	—	100%	—	—	—	実施済み	—
2★	節電・電力料金見直し等による電気料金削減率 (対 2 0 2 1 年度)	—	10%	—	—	—	15%	—
3★	ギャラリー壁紙の張り替え	—	100%	—	—	—	実施済み	—
4★	施設の管理瑕疵に起因する事故件数 0 件	—	0 件	—	—	—	0 件	—
5★	法定点検等の実施率 100%	—	100%	—	—	—	100%	—
6★	修繕予算の執行率 90%	—	90%	—	—	—	90%	—

イ 定性指標 (★は提案者が提案した指標) (実績は各年度終了後に記載)

通番	項目	達成指標と各年度の実績	
1★	修繕方法	R 4 実績	—
	最善策の	R 5 達成指標	継続実施

	模索	R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	継続実施
		R 8 実績	—
2 ★	軽微な修繕の即日対応	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	継続実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	継続実施
3 ★	アンケート・ヒヤリング等による施設の使いやすさや快適さの向上確認	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	継続実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	継続実施
		R 8 実績	—
4 ★	管理運営費推移の要因分析・改善	R 4 実績	—
		R 5 達成指標	継続実施
		R 5 実績	—
		R 6 実績	—
		R 7 実績	—
		R 8 達成指標	継続実施
		R 8 実績	—

ウ 使命4を達成するために重点的に取り組む事項

当施設の貴重性・重要性を理解し、利用者の安全・安心を確保しながら、効果的・効率的で持続可能性の高い維持管理・施設運営を実現します。

(5) 使命5 新型コロナウイルス感染症の影響を想定し、施設運営を継続する。

具体的な取り組み

・施設内の安全対策の徹底やその内容を広く告知し利用者が安心して来館できる対策を実行します。

- ① スタッフによる一日2回の館内共有部分の除菌消毒
- ② ご利用者の利用後ごとの各会場の除菌消毒
- ③ スタッフの勤務前に検温の義務付け
- ④ 掲示物やのぼりを掲示し啓発活動に努める等。

利用者に向けた対応

- ① 3密を避けた利用を促す。
- ② 入館時に神奈川県 LINE コロナお知らせシステムへの登録または名簿への記入をお願いする
- ③ 手指消毒の徹底
- ④ 「咳エチケット」の徹底履行
- ⑤ 定期的な換気をしていただく等

事業イベント開催時

- ① 入退室時の手指消毒・検温の徹底をお願いする。
- ② 座席間隔を取り、換気をこまめに行う。

収入対策

- ① アフターコロナに向け、新たな事業サービスを考え、実行して行きます。
 - ・公演のオンライン配信の撮影代の徴収
 - ・オンライン会議向けのスペースやコンテンツの提供 等

令和4年度 「大倉山記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	27,388,000		27,388,000		27,388,000	横浜市より(令和3年度数値)
利用料金収入	9,768,400		9,768,400		9,768,400	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入			0		0	
自主事業収入	1,327,847		1,327,847		1,327,847	ジャズなど有料公演・アレンジ講習等です
雑入	2,968,000	0	2,968,000	0	2,968,000	
印刷代	72,000		72,000		72,000	
自動販売機手数料	550,000		550,000		550,000	
駐車場利用料収入			0		0	
その他()	2,346,000		2,346,000		2,346,000	撮影(動画・静止画、有料分です)
収入合計	41,452,247	0	41,452,247	0	41,452,247	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	22,065,169	0	22,065,169	0	22,065,169	日比谷全員の給与と西田装美分の全員分です
給与・賃金	18,210,111		18,210,111		18,210,111	同上
社会保険料	2,591,458		2,591,458		2,591,458	同上
通勤手当	888,000		888,000		888,000	
健康診断費	104,400		104,400		104,400	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	271,200		271,200		271,200	
事務費	1,700,976	0	1,700,976	0	1,700,976	旅費・交通費です
旅費	66,000		66,000		66,000	
消耗品費	645,880		645,880		645,880	
会議備い費	24,000		24,000		24,000	ここはインク代とA4のカラー用紙(イベントスケジュール用)です
印刷製本費	160,000		160,000		160,000	
通信費	395,862		395,862		395,862	自動販売機の目的外使用料です。
使用料及び賃借料	116,840	0	116,840	0	116,840	同上・毎年横浜市より3月になると請求書が届きます、
横浜市への支払分	81,840		81,840		81,840	子供上映会など映像資料代
その他	35,000		35,000		35,000	
備品購入費	0		0		0	申請にて購入したものを記入
図書購入費	13,200		13,200		13,200	毎年4月、もしくは10月に本社にて加入分を記入
施設賠償責任保険	82,160		82,160		82,160	9月、もしくは3月の休館日に行う講習時に弁当購入代です
職員等研修費	22,000		22,000		22,000	
振込手数料	3,000		3,000		3,000	明細書項目のリース代の合算です
リース料	122,034		122,034		122,034	
手数料	0		0		0	秋芸と愛護会のボランティア活動への協力費として申請起家より
地域協力費	50,000		50,000		50,000	
事業費	1,427,847	0	1,427,847	0	1,427,847	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	100,000		100,000		100,000	
自主事業費	1,327,847		1,327,847		1,327,847	自主事業にかかった仕入れ・経費すべてです
管理費	11,243,827	0	11,243,827	0	11,243,827	
光熱水費	4,047,715	0	4,047,715	0	4,047,715	仕分明細書の電気代・水道代の合算です。(精神文化のマイナスは未計)
電気料金	3,656,400		3,656,400		3,656,400	仕分明細書記入されている数字で記載
ガス料金	0		0		0	
水道料金	391,315		391,315		391,315	仕分明細書記入されている数字で記載
清掃費	3,362,304		3,362,304		3,362,304	
修繕費	1,232,000		1,232,000		1,232,000	
機械警備費	462,000		462,000		462,000	
設備保全費	1,530,408	0	1,530,408	0	1,530,408	
空調衛生設備保守	264,000		264,000		264,000	
消防設備保守	319,000		319,000		319,000	
電気設備保守	303,138		303,138		303,138	
害虫駆除清掃保守	88,000		88,000		88,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	556,270		556,270		556,270	
共益費	609,400		609,400		609,400	毎月の入金機、¥44500×12と指定管理webサイトSSL化作業
公租公課	2,206,517	0	2,206,517	0	2,206,517	
事業所税			0		0	
消費税	2,206,517		2,206,517		2,206,517	人件費分
印紙税	0		0		0	
その他()	0		0		0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	2,794,711	0	2,794,711	0	2,794,711	
本部分	2,308,713		2,308,713		2,308,713	
当該施設分	485,998		485,998		485,998	
二一ス対応費	13,200		13,200		13,200	
支出合計	41,452,247	0	41,452,247	0	41,452,247	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		